
LAST EXILE 陰の鳥

kan_sta_ku

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

LAST EXILE 陰の鳥

【Nコード】

N2820BA

【作者名】

kan|sta|ku

【あらすじ】

どこの国にも属さず、自由に空を渡る空族

その中に本来2人乗りの小型ヴァンシップ”ヴェスパ”に1人で乗る

しかもそれは操縦技術だけでなく、優秀なナビ並みの知識と判断力まで兼ね備えた少年がいた

ファム、ジゼル、そして空族の仲間と空を駆け巡る日々

しかし、少年の過去には…？

episode 1 (前書き)

LAST EXILE - 銀翼のファム - の二次小説でテンプレな感じで書くとこんな感じかな? と手探りかつ俺得な小説です

つまらないかもですが、暇つぶしにでもなれば嬉しいです

episode 1

黒々とした鉄骨の間に夜の空が見えている

その空には、6つの月が浮かんでいた。距離の違いのせいか、月の大きさは同じには見えない。しかし、形は全く同じだった。弓を引き絞ったような三日月……

そんな夜空の下——正確に言えばそれを区切る鉄骨の下を、1人の少女が歩いていた

年は14、5程度、明るい茶色の髪は少し短めで、所々はねている。そして、少しゆったりとしたワンピースを着ていた

突然、少女はワンピースの裾をまくり、そのまま頭から脱ぎ捨てた

少女は寝ぼけているらしく、手で目を擦っている

少女の足首にはなぜか頑丈なロープが巻きつけられていた

ふらふらと歩いていた少女は、1つの扉にたどり着く

金属の分厚い扉にもたれるように、少女は額を扉にぶつけた

「……………ジゼー」

完璧に寝ぼけ声なその声は、誰かをよんでいるようだ

「ジゼー……………ああ、フルもいるう、あたしも入るぞお……………」

勝ち気そうに見える少女はニヘラツと笑うと、言葉通り、扉を押し開ける

そこからは、月の光が入ってくる

そして少女は開いたそこから、扉の外へ足を踏み出した

その瞬間、少女が消えた…いや、落ちた。真つ逆さまに

それもそのはず、ここは空中を浮遊する浮きドック艦で扉は艦と外の境だったのだから

少女は尚も落下していくが、まだ起きていないのか相変わらず楽しそうな笑みを浮かんでいた

その時、浮きドック艦の格納庫に涼やかな鈴の音が鳴る

その鈴は少女の足首に結んであったロープについていたもの

格納庫に居た者たちは、目を覚ました

格納庫内には、たくさんの飛行機械（小型のものはヴェスパ、中、大型のものはヴァンシップと呼ばれる）が並んでいた

ドック艦はこれらの母艦が役割だ

「ファム？」

並んでいるヴェSPAの中でも一際小型に見えるヴェSPAの後部ナビ席で寝ていた少女が目を開けた

こちらは、おとなしそうな顔立ちで、年齢はさっきの少女と同じだろう。長めの髪を後ろでくくり、額にはゴーグルを着けている

「うう…ふああ…あれ？ファム？」

少女が乗るヴェSPAの隣の少女のほどではないが小さめのヴェSPAにいた、少年も欠伸をしながら目を覚ます

少年も少女たちと同じくらいの年齢だろう。間違ってもたくましいとは言えない体つきで、顔も中性的で優しそうだ。しかし、背はこの年齢にしては高めだろうか…

2人はヴェSPAから降りて、辺りを見回し開いている扉とそこへ伸びているロープに気が付く

完全に目が覚め、あわてて2人は扉に駆け寄る。格納庫内の他の場所からも数人の男たちが集まってくる

「おい！！ファムー！！」

「ファム、ファムー！！大丈夫！？」

「うーん…目がさめたあ…」

2人が叫ぶとロープの下から欠伸と共に声が返ってきた

ドック艦の下方部、雲海の上で下着姿の少女が逆さ吊りになっていた
空に慣れない者なら、恐怖に声も出ないだろう

だが、少女は慣れていた、慣れすぎというくらい…

少女は格納庫側に向かって手を振る

「それより、ジゼー！！フル！！見て！！雲が掴めそうだよっ！！」

格納庫側の皆から呆れたような雰囲気生まれる

1人の男は隣の男に尋ねる

「今日、何回目？」

「6…いや、7回目？」

さらにもう1人の男が外の少女へ怒鳴る

「ずっとそこにぶらさがってる！！アヒル野郎！！」

「えっ、うそ！！そんなああ！！」

宙吊りのまま焦ったように叫ぶ少女を格納庫側の少女は苦笑を浮か
べ見ている

「ちよっ…助けて！！フル！！」

「まったくもうしょうがないなあ…」

少年は文句を言いながらもロープを引き上げる

たくましくもない体に見合わず、少年は割と力があるようだ

後少しになるとロープを足で押さえながら、少女へ手を伸ばし、少女は少年の手を掴む

少年はふうつと息を吐き出し、少女を引き上げそのままバランスを崩して後ろへ倒れる。当然手を掴んでいたので少女は少年のほうへ倒れ込む

ひゅーつと男たちがはやし立てるように声を上げ、少女はどこ吹く風と少年に抱きついている。ゴーグルをつけた少女は顔を赤くして2人を見ている

「ちよっ…ファム、自分の格好考えろよ」

「フルあつたかあい」

「まったく、聞いちゃいないし」

少年は意識しないよう少女から目をそらすと、困ったように溜め息をついた

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2820ba/>

LAST EXILE 陰の鳥

2012年1月7日04時45分発行